

## 基本計画部会第3ワーキンググループ会合（第12回）議事概要

- 1 日時 平成20年7月28日（月） 10:00～11:40
- 2 場所 中央合同庁舎第4号館11階 共用第1特別会議室
- 3 出席者：  
阿藤委員（座長）、井伊委員、大久保委員、大沢委員、加藤委員、玄田委員、嶋崎委員、  
廣松委員、藤田委員  
総務省（統計局）、法務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、  
国土交通省、東京都、大阪府、日本銀行

### 【事務局】

永島統計委員会担当室企画官  
中田総務省政策統括官、會田総務省統計審査官

- 4 議事次第 （1）とりまとめ検討  
（基本計画部会第3ワーキンググループ報告書（案）について）  
（2）その他
- 5 議事概要

#### （1）基本計画部会第3ワーキンググループ報告書（案）について

- ① 基本計画部会第3ワーキンググループ報告書（案）について、前回報告書（素案）からの主な修正点を中心に、以下のとおり検討が行われた。

#### 《Ⅰ 趣旨及び第3ワーキンググループの検討課題等》

- ・ 「1 検討の背景・目的」及び「2 検討に当たっての考え方及び検討の進め方」の修正点については、一部の文言を修正することで、了承された。

#### 《Ⅲ—2 「家族・暮らし・居住・余暇・レジャー」分野における統計整備の重点的課題》

- ・ 「（1）少子化、ワークライフバランス等関連の統計整備」の修正点については、案のとおり了承された。
- ・ ただし、（1）の「配偶関係、結婚時期、出産などに関しては、「国勢調査」、「人口動態統計」において全数で把握されている」部分の記述について、誤解を招かないように書きぶりを改めることとされた。

#### 《Ⅲ—3 「労働・雇用」分野における統計整備の重点的課題》

- ・ 「（1）働き方の多様化に対応した統計整備」の修正点については、①正社員を含めた各雇用形態間の比較だけでなく、「同一企業内における非正社員から正社員への転換」についての社会的関心が高まっていることから、記述を追加してはどうか、②非正社員から正社

員への転換や雇用の安定化を図る上で、労働者個人、とりわけ非正規雇用者のスキル形成の把握が重要との意見を踏まえ、文言を修正することとされた。

- ・ 「(2) 労働時間の捉え方に係る改善・工夫」の修正点については、案のとおり了承された。
- ・ 「(3) 雇用変動の捉え方に関する統計の整備」の「事業所レベルの雇用変動」については、より趣旨が明確になるよう、記述を改めることとされた。

#### 《Ⅲ—4 「福祉・社会保障」分野における統計整備の重点的課題》

- ・ 「(1) 福祉・社会保障全般を総合的に示す統計の整備」の修正点については、案のとおり了承された。なお、検討期限については、迅速な検討を促す観点から、記述の工夫をすることとなった。
- ・ 「(2) 「国民生活基礎調査」の改善」の修正点については、案のとおり了承された。

#### 《Ⅲ—5 「医療・健康・介護」分野における統計整備の重点的課題》

- ・ 「(2) の医療費に関する統計の国際比較性の向上」の修正点については、案のとおり了承された。なお、検討期限については、迅速な検討を促す観点から、記述の工夫をすることとなった。

#### 《Ⅲ—6 「教育」分野における統計整備の重点的課題》

- ・ 藤田委員から別途提案された修正案については、他の分野との記述のバランスをとる観点から、全体として短縮化が必要であり、後日、藤田委員と調整の上、座長が修正することとなった。

- ② 以上の議論を踏まえ、報告書(案)は基本的に了承された。なお、一部修正箇所の文案については、座長に一任され、所要の修正を行い、後日、委員等に確認のため送付することとされた。

以上

<文責 内閣府大臣官房統計委員会担当室 速報のため事後修正の可能性あり>